

**パルシステムの2016年度商品事故のまとめが報告されました。****(2017年5月協力会品質管理部会)**

JASMEQ顧問 監物今朝雄

5月17日に開催されました、パルシステム協力会品質管理部会で、品質保証部から「2016年度まとめと2017年度方針」として、2016年度商品事故まとめの報告がありました。

事故(申告)件数は、7,094件(前年度7,823件、前年比90.3%)と減少しています。食品関連では、5,859件で、これも前年比82.9%(△457件)と減少しました。

**<食品の現象分類別では>**

■異物混入が2,222件と一番多く、その内訳では「その他異物」と原料由来の「骨片・筋・獣毛羽等」を除くと「毛髪」が429件、「プラスチック・ビニール片」が270件、「虫」が254件、「金属・鋳物」が137件となっています。

■異物混入に続いては、「食味不良」「包材不良」がそれぞれに約900件、「規格・量目不良」約750件、「品質劣化」が450件、「異臭・変色」が340件、「日付・表示」が約85件となっています。

**※JASMEQからの見解**

JASMEQ関連の内容については、6/22日に予定しています「商品事故削減会議」で報告させていただく予定ですが、

- ①「異物混入」に分類されている内容については、「一般的衛生管理」=作業員・従業員の日々の意識的な取り組み・目視点検でしか削減できないことであると考えています。日々の製造現場での取り組みがポイントと考えます。
- ②「食味不良」「包材不良」「規格・量目不良=組合員の期待とのズレも含む」「品質劣化」「異臭・変色」については、工場出荷以降の要因も考えられますが、工場では、自社工程での管理状態を記録や手順(マニュアル)や自社の管理基準(正常品・不良品)と、その確認・実施状況について報告説明できることが求められていると考えます。
- ③「日付」間違いや、「包材間違い or 原材料の管理ミス(表示違い)」は、あってはならない事故と考えます。これは、工場・会社に対する信用崩壊に通ずる事故と考えています。

**<食品の回収事故の概要=パルシステムHPより=>**

- ①製造元からの他製品(原材料として使用)への金属片混入による、関連商品としての回収事故。回収時には、直接の原因特定はされていない。
- ②製造元での他製品への、製造用機械のゴムパッキンと特定されたゴム片混入・プラスチック片混入により、同一ラインの製造商品の回収事故が2件。
- ③アレルギー(表示以外)物質の混入による回収事故が2件。
- ③キャップの不良によるカビ発生(の疑い)による回収事故。
- ④他に、全品回収ではありませんが「使用調味料の賞味期限切れ」と「副原材料の仕様書との違い」が発見される事故も発生しています。

**※JASMEQからの見解**

- ①「商品回収」対応については、「安全」の面からと「安心=企業倫理」の面からと、議論のあるところですが、現状は「安心=企業倫理」の面が優先されるのが社会状況です。そのためにも、「製造記録の信頼性」、現場だけではなく消費者・納品先にも分かる記録になっているかどうかの、再確認も求められていると考えています。

- ②特に副原料・調味材料や添加物のアレルギー物質の管理、副原材料（添加物含む）の仕様管理については、仕入先（商社を通しての仕入れであることが多い）との関係もあり、なかなか難しいことではありますが、使用責任は製品の製造メーカーにあり、他には責任転嫁できないことです。管理方法について「できる限りのこと」ができていないか再確認が求められていると考えられます。
- ③調味料等の「賞味期限」の問題は、「賞味」であることと「開封までの保証」であることなど、意見のあるところですが、これも製品の責任は製造メーカーにあるものです。工場訪問の際にも、特に仕入れロットが大きく、使用料が少ない物は、「指摘事項」としてお願いすることの多い問題でもあります。工場での「決め事とその根拠（感応で可の場合が多い）」が示せるかどうか、再確認が求められる事例と考えます。

このところ、パルシステムに限らず「アレルギー物質」管理と、事例対応については、各所で検討・議論がおこなわれているように思われます。

一例としては「コンタミ表示（原材料には使用されていない）されていても、ライン管理が徹底しなくて一定量以上のアレルギー物質が検出される場合が想定できるとすれば、コンタミ表示について再検討が必要」との議論もあることなどが伝わって来ています。

基本は「5Sと一般的衛生管理」と言ってしまうと済むかも知れませんが、それが「難しい」ところだと考えています。JASMEQの課題でもありますので、皆さまのお力もお借りして、少しでもお役に立てるように努力してゆきたいと考えていますので、今後とも、ご協力ご支援いただけますようお願いいたします。

以上

<編集後記>

■ JASMEQ事故削減会議の開催について（「ご案内」別途添付）

以下の様に関係先にはご案内中で、重複しているかも知れませんが、参加希望の方がおられましたら、お知らせ下さい。（以下のメールアドレスで結構です）

日時：2017年6月22日（木）14:30受付 15:00～17:00

会場：新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿

パルシステム生協連合会 本部 2階 第一会議室

内容：パルシステム連合会品質保証部からの講演

「事故発生状況と事故削減の取組」「組合員満足度調査結果」

■ JASMEQ通信教育の募集案内をしていますので、関心がありましたら問い合わせ下さい。

「食品工場で働くための講座（初級編）11期生」経験の浅い職員・定時職員・責任者の指導力UPが対象。

「HACCPによる管理方法（中級編）3期生」HACCP義務化要求事項を念頭に、責任者・担当者のHACCPを自社工場への導入と見直しのための基礎を学んでいただく。

■皆様には、BCCでお送りしていますが、取引関係者及び関連会社の関係者への送付先追加希望（メールアドレスをお知らせください）がありました紹介下さい。また、今後不要な方も、お手数ですが連絡をお願いします。

（JASMEQ 中村・監物）

協同組合JASMEQ(ジャスメック)監物今朝雄・中村優

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル 4階

Tel 03-6205-6677 Fax 03-6457-6759

E : [k.kenmotsu@jasmeq.com](mailto:k.kenmotsu@jasmeq.com)

E : [m.nakamura@jasmeq.com](mailto:m.nakamura@jasmeq.com)

皆様のご意見、感想をお待ちしています。

（次頁を使用いただくか、直接メール返信でも結構です）

お名前 \_\_\_\_\_ (匿名希望は希望ペンネーム等 \_\_\_\_\_ )

御社名 \_\_\_\_\_ ( 公開可 \_\_\_\_\_ 非公開希望 \_\_\_\_\_ )

次号以降への掲載 \_\_\_\_\_ 掲載希望 \_\_\_\_\_ 掲載は希望しない。 \_\_\_\_\_

(以下、自由に記載いただきメールで返信下さい。)

題名 (無くても結構です)